

AI人材連携による中小企業課題解決促進事業

令和3年度予算額 5.5億円（6.2億円）

商務情報政策局 総務課、情報経済課
情報技術利用促進課
03-3501-2646
中小企業庁 技術・経営革新課
03-3501-1816

事業の内容

事業目的・概要

- 我が国の全体としての生産性の大幅な向上が求められる中でも、とりわけ、大企業と比して低水準にある、中・小規模事業者の労働生産性の向上は、喫緊の課題です。
- そのため、中小企業の実装による生産性の抜本的改善が期待される、AI等の先端技術の実装による解決を進めていくことが不可欠です。また、同時に新たな産業力の強化も期待されます。
- 本事業では、①解決すべき課題を媒介に中小企業等がAI人材とマッチングし協働で課題を解決していくこと、②成功事例の展開による、企業とAI人材の連携、を進め、中小企業のAI導入を促進します。

成果目標

- 中小企業と課題解決型AI人材とのマッチングにより、生産性向上を実現するノウハウを構築し、全国で中小企業の現場での生産性を向上します。
- 併せて、各方面で中小企業に向け活躍が期待できる課題解決型AI人材を合計600人育成することを目指します。
- 得られた事例を展開し、課題解決を通じたAI導入を促進します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



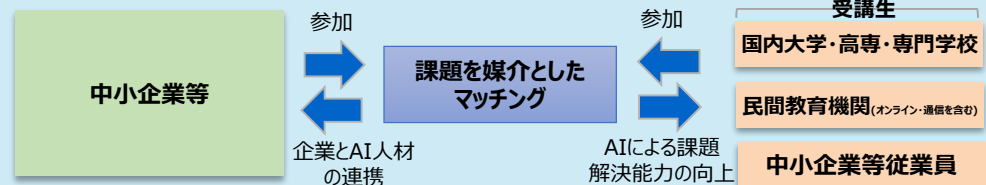
委託

民間企業等

事業イメージ

(1) 中小企業等とAI人材の協働による課題解決推進

- 企業がAIを活用していくためには、AIで解決できる課題の抽出と、適用方法を考え進めていく能力が必要で、適切な人材を見つけ、コミュニケーションをとるノウハウ構築が課題です。一方、AI人材側も事例が少なく、解決方法提案は手探り状態です。
- このため、AI活用意欲のある企業とAIの技術能力をもった人材を「解決すべき課題」を媒介としてマッチングし、企業とAI人材が協働で課題に対するAI適用方法を考えていく場を設けることで、「企業とAI人材の連携」を醸成していきます。更に、これらを基に課題解決型AI人材を育成するカリキュラム等も作成します。



(2) 課題解決事例の展開

- 以下の取り組みにより、類似事例への企業とAI人材の連携を促進します。
 - ① 課題解決事例の成果を定量的な数字とともにオープンにして、企業側の費用対効果を可視化する
 - ② 一定水準以上の課題解決能力を有するAI人材のコミュニティをつくり(※)、企業とのマッチングができるようにする(※) 課題解決事例のソースコードや使用データなどをできる限りオープンにすることで、AI人材側にとっても類似事例へ参画しやすい環境を目指します。

<企業の課題解決のイメージ>

- ❑ 品質を保つため、全数の外観検査を人が実施
- ❑ 異常パターンが多すぎるため、既存の機器では効率化困難

AI導入

- ✓ AI画像分析で検査し高精度でNG品を検出
- ✓ NG品のみ人が検査することにより、生産性を抜本的改善